

二学期終業式校長講話「地域とつながる みんなが笑顔」

令和5年12月26日

みなさんおはようございます。85日間の2学期が終わろうとしています。皆さんにとってこの2学期はどんな学期になったでしょうか。

今、5・6年生が総合的な学習の時間で学んだことを発表してくれました。

(5年生は米作りの学習から、1年間米作りを支えていただいた保護者やJAの皆さんへの感謝の思いを持ち、米作りの大変さについて学ぶことができました。収穫祭で自分たちで育てたもち米でついたお餅の味は格別だったのではないのでしょうか。

6年生はトランペット鼓隊の活動から、楽器をプレゼントしてくださった登内さんの思いを知り、手良の良さを感じたり、手良への愛着を深めたりして、一人一人がこれからの手良への思いをもつことができました。)

きっとそれぞれのクラスで、生活科や総合的な学習の時間を中心に、僕たち私たちのクラスはこんなことをやって、こんなことが楽しかった、こんなことを学んだということがあると思います。長い2学期のなかでいい学習ができましたね。

●さて、2学期の始業式に、2学期は「みんな好き」に向かってがんばってほしいとお願いしました。みなさんの「みんな好き」はどうだったでしょうか。写真を見ながら振り返ってみましょう。

●9月28日 手良の自然に親しむ日、午前中は仙丈班でそれぞれ分担してカレー作りをしました。高学年の友だちが手際よく作業を進めてくれ、どの班もとてもおいしいカレーが出来上がりましたね。うまく火がつけられるのかなあと心配していましたが、皆さんが上手に火をつけることができ驚かされました。

●午後は、下手良・ハツ手方面を歩いてウォークラリーを楽しみました。中坪・野口方面の友達の中には初めてという人もいたでしょう。立派な神社があったり、かや葺き屋根の立派な家があったりして、深い歴史のある地域だと感じました。また、道ばたに咲くコスモス、風に揺れるススキ、秋の気配を見せ始めた近くの里山など、美しく豊かな手良の自然のよさを改めて感じた気がします。

●3年生の今年の社会科は地域を知ることが大きなテーマです。いつも給

食のおいしい野菜を作ってくれている池上みどりさんが、ネギ畑の見学とネギの出荷作業の体験をさせてくれました。

●農家の方の苦勞、皆さんのために野菜を育てる気持ちや農業のやりがいなどを学ぶことができました。

●2・3年生が秋の遠足に出かけました。3年生が総合的な学習の時間で調べた、手良に数多くある石碑・石仏について、その場で説明しながら野口方面を歩きました。

●手良にはたくさんの歴史的なものがたくさん残されていて、これを調べることは、手良をよく知ることに繋がります。

●手良地区講演会は、手良小学校PTA、手良地区育成会、手良地区活性化促進会議、手良公民館の4つの組織の人達が毎年開催してくれています。手良小学校の皆さんが立派に成長していってくれることや、手良地域の全ての人たちにとっての学びの場となることを願った会です。

●今年は手良太鼓でもお世話になっている、祭り工房の北原さんのお話と大太坊の皆さんによる太鼓演奏でした。体中で感じる太鼓の迫力ある響きを、会場に集まった皆さんと一緒に感じることができました。

●5年生は総合的な学習の時間で米作りに取り組みました。保護者やJA上伊那の皆さんに教えてもらったり手伝ってもらったりして米作りを体験することが出来ました。お父さんお母さんたちの中にも、米作りを初めて体験する方もいて、一緒に学びを楽しんでいるようでした。

●収穫祭では自分たちのもち米で餅つきをしました。また、12月19日には地域の方に教えていただきながら、正月のしめ飾りを作ることが出来ました。

●コロナ禍で手良小の子どもたちのリクエストを受けて、公民館行事としてこの百人一首大会が開かれることになったと聞きました。「たくさんの手良小の友だち、有賀先生、柳沢先生、林先生も参加してくれてとてもいい会になった」と、公民館長さんが話してくれました。

●「小学校でも百人一首を盛り上げて、さらにたくさん参加してくれたらいいなあ」「初心者部をつくるなどレベルに応じた競技にしてもいいなあ」と、すでに来年度に向けていろいろ考えてくれていました。

●12月5日、毎年恒例の読み聞かせボランティアの皆さんによる「読み

聞かせの会」がありました。皆さんが興味を持って聞いてくれる様子を想像しながら、どの本を読もうか決めて、何度も何度も練習して、発表方法も工夫して読み聞かせをしてくれました。

●「これで「お話の部屋」で読み聞かせを聞くのも最後だと思うと、少しさびしくなっていました。」「すてきな声でありがとうございました。」「一文一文読むときに、表情などを変えて呼んでいて、一生懸命読んでいるんだなあ、と思った」「読み方もいろいろ工夫がされていて、とても印象的でした。」と皆さんの感想には、ボランティアの皆さんの工夫への感動や感謝の思いがたくさん表れていて、心がつながっているなと思いました。

●1年生は、昔上伊那で盛んだったカイコの飼育に取り組みました。そして、12月7日には、駒ヶ根市にあるシルクミュージアムで、絹糸のもとになるカイコの繭を使った工作を体験してきました。この手良地区でも昔はたくさん農家で蚕を飼育していたと思います。カイコを飼う道具が残されているお家もあるのではないのでしょうか。

●12月9日には親子ふれあいトンカチ教室がありました。昔から手良地区には大工さんがたくさんいらっしゃるそうです。そこで、「手良」の漢字から「良い手」で木工作をしようと、大工さんたちが協力してくれて、この親子ふれあいトンカチ教室が始まったと言われています。

●今年も建設労働組合の皆さんが、材料を用意し小物入れ作りを通して皆さんとつながりました。お家の方とトントンと釘を打って自分だけの小物入れができあがりました。

ちなみに手良太鼓も「良い手」ということから、手良小学校の皆さんに自分の手で太鼓を打つ楽しさや太鼓の響きを感じてほしいと始めました。

●こうして振り返ってみると二学期にはたくさん「みんな好き」に関わって、手良の人・もの・こととつながることができました。毎日登下校を見守ってくれているボランティアの方との「おはよう」のあいさつ一言も「みんな好き」に関わる一つです。一つ一つを挙げていけばさらにたくさんの方がいると思います。私たちはたくさんの方に関わっていただくことで、毎日笑顔で学校生活を送ることができているのですね。

地域とのつながりの中で、地域の方に手良小のみんなを笑顔にしてもら

っているばかりのようですが、逆に地域の皆さんに笑顔を届けていることもあります。

●手良地区活性化促進会議の企画委員会の皆さんが、「各地区で行っていた運動会に代わって地域の方みんなが集える行事を創りたい」「コロナ禍で祭りの楽しさを味わえていない子どもたちに、お祭りを楽しんでほしい」と願って企画されたのが手良秋祭りです。ステージ発表で見ている人を笑顔にしてくれた2年生のダンス、6年生のトランペット鼓隊。

●収穫した野菜を販売した4年生、つくし学級、育てた花を使って作ったハーバリウムを販売した6年生は、お店を出して買いに来てくれた人を笑顔にしてくれました。自分が楽しむ側ではなく、地域の方に楽しんでもらう側で参加をしてくれました。

●ひっきりなしにたくさんの方が祭りに来て、買い物したり、食べたり飲んだり、発表を聞いたりしていましたが。みんな笑顔いっぱいでした。祭りが終わった後「4年生が育てたカブを今年も販売してもらえて嬉しかった。」「運動会では来られないお年寄りの方もたくさん来てくれた。保育園児や小学生の発表が素晴らしくて、みんな喜んでいた。」など、参加してくれた皆さんへの感謝の言葉をたくさんいただきました。

●小学生の皆さんができること。それは、マレットゴルフ大会や百人一首大会なども同じですが、地域の行事に積極的に参加し、元気いっぱいな姿を届けることだと思いました。もちろん運動会や音楽会などでがんばる姿を見ていただくのも同じです。皆さんの元気な姿からは地域の方が元気をもらうことができるのだと思います。また、行事を作ってくれた人たちにとっては、たくさんの方が参加してくれた、楽しんでくれたと、充実感や達成感を得ることができるのだと思います。

これからも、「みんな好き」を大事にして、地域の方とつながり合い、みんなが笑顔になれたらと思います。

●最後に、皆さんにお知らせがあります。下手良にお住いの竹中雅幸さんから、皆さんに楽しんでほしいとクリスマスプレゼントをいただきました。竹中さんは皆さんも知っている、手良公民館の館長さんです。

●「モルック」というゲームを2セットいただきました。

このモルックは、子どもからお年寄りまで年齢に関係なく楽しめるフィンランドで生まれたスポーツです。

モルックとは、「モルック」と言われる木の棒を投げ、地面に立てた「スキットル」という複数のピンを倒して獲得した点数が合計50点になると勝ちとなるスポーツです。ルールは簡単で、投げる技術だけでなく、合計点が50点になるように、計算したり作戦を立てたりしてとても頭を使うスポーツです。

ぜひ、休み明けに各学級で遊んでみてください。遊んでみての感想をお礼も込めて竹中さんにあったときに伝えられるといいなと思います。来年は手良地区のみんなにモルックを楽しんでもらおうと公民館でも広めていくそうです。地域の方と対戦ができたらいいなあと思います。

●インフルエンザが流行しています。手良小学校でも11月の終わりからたくさんの友だちがかかりましたね。一度かかってもインフルエンザは別の型にかかります。また、新型コロナウイルスも少し増えてきているようです。年末年始は親戚に新年の挨拶に出かけたり、神社やお寺に初詣に出かけたり、初売りのお店に買い物に出かけたりして、人の動きがとても多くなります。新型コロナウイルス・インフルエンザウイルスへの基本的な感染対策を正しく行って、元気に休みを過ごしてください。

●それでは皆さん、よいお年をお迎えください。終わります。